

## 市民の皆さんと有識者の方々が話し合いました。

### ★市民検討会議委員参加の有識者会議

新たな総合計画策定のため、有識者会議委員に加え、市民検討会議からコーディネーターを務める磯崎教授、及び5名の市民検討会議委員が参加し、「第5回有識者会議」を開催しました。

#### 出席者

涌井委員、出石委員、秋山委員、垣内委員、中井委員、平尾委員  
磯崎市民検討会議コーディネーター、市民検討会議委員5名

#### テーマ

- ・市民検討会議意見のまとめ
- ・市民自治に関する本市の取組の方向性
- ・地域コミュニティの活性化 など

まず、磯崎教授から市民検討会議意見のまとめについて報告がありました。そして、市民検討会議委員より、福祉、子育て、防災、暮らし・交通、文化・スポーツの各分野における「市民から市民へのメッセージ」を報告し、その後、市からは市民自治分野の政策の方向性と市の取組について説明がありました。

「市民から市民へのメッセージ」は、同じ市民から、市民が自ら取り組むべきこととして提案され、市民のアクションにつなげる力を持つ一方、行政も取り組むべきことを読み取って、役割分担することが重要であるという意見が出されました。「各政策分野に共通して大切にすべきこと」のうち、「情報を受け取る力と活用の強化」について、受け取った情報をさらに市民の言葉で再発信する重要性が指摘されました。

地域コミュニティの活性化に向けて必要な視点や取組について、まず、自助・共助（互助）・公助の概念を踏まえ、町内会館、小学校などの公共施設のハード面と、交流や地域価値の創出などソフト面での求心力の必要性について議論されました。また、市民性（シチズンシップ）や自発性を引き出す重要性、地域のコーディネーターやリーダーの育成、コミュニティの核としての学校のつながりの活用についても意見が出されました。町内会・自治会は加入率が下がっているなかで、地元への愛着の醸成による活性化や、地域での実践の積み重ね、コミュニティ同士で学び合う気運の向上などが提言されました。

また、最適なコミュニティの単位については、地域事情に応じて効率よく運営する、エリアマネジメントの視点が議論されました。次回は、7月10日に第6回有識者会議が開催されます。

#### 今後の予定

- ・第6回有識者会議 7/10（金）
- ・市民検討会議 第5回全体会 7/12（日）
- ・新たな総合計画素案公表 7月中

#### 第5回有識者会議

日時：平成27年6月12日（金）19:00～21:00

会場：川崎市役所 第4庁舎 第6・7会議室



市民検討会議委員



中井委員・平尾委員



磯崎市民検討会議  
コーディネーター



涌井座長

昨年4月の作業方針及び8月の策定方針に基づいて進められてきた**新たな総合計画策定作業の中間報告等**が公表されました。

詳しくは下記のURLの報道発表資料をご覧ください。

⇒新たな総合計画策定作業中間報告等について：<http://www.city.kawasaki.jp/templates/press/200/0000068155.html>

## 皆さんのご意見をお聴かせください。

市のホームページで市民の皆さんからのご意見をお聴きしています。  
(<http://www.city.kawasaki.jp/200/page/0000059368.html>)

川崎市 新たな総合計画



検索

#### 【発行】

川崎市 総合企画局 都市経営部 企画調整課  
〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地  
TEL 044-200-0372 FAX 044-200-3798  
e-mail : 20kityo@city.kawasaki.jp  
<http://www.city.kawasaki.jp>



# 川崎市 総合計画ニュース

川崎市の新たな総合計画づくりの  
取り組みの状況について、  
定期的にお知らせします。

第7号  
H27.7.7

## ★有識者の方々からご意見をお聴きしています。

### ★有識者会議ラウンドテーブル

有識者会議の一環で、ゲストアドバイザーの講演とテーマ別に  
議論を行う「有識者会議 第4回ラウンドテーブル」を開催しました。

有識者会議 第4回ラウンドテーブル

日時：平成27年4月20日（月）18:00～20:40

会場：川崎市役所 第4庁舎 第3会議室

#### 出席委員

涌井委員、出石委員、秋山委員、垣内委員、中井委員、平尾委員

#### テーマとゲストアドバイザー

テーマ：川崎発のイノベーションによる産業振興

ゲストアドバイザー 小野弘之氏（富士通株式会社 執行役員専務）

前川 治氏（株式会社東芝 執行役員 専務常務）

日色 保氏

（ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 代表取締役社長）



委員による意見交換の様子



富士通株式会社 執行役員専務  
小野弘之氏



株式会社東芝  
執行役員 専務常務 前川 治氏



ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社  
代表取締役社長 日色 保氏

今回のラウンドテーブルでは、市内で事業を展開する各社から川崎発のイノベーションの取組について話題提供をいただくとともに、イノベーションを支える人材が集まりやすい都市の条件や、企業が求めるグローバル人材像、地域貢献の考え等について御意見をいただきました。

ゲストアドバイザーからは、企業拠点の立地選択に関する考え方や川崎市への立地・進出理由について、開発・設計拠点としての魅力、創業地への回帰、交通便利性の高さなどが挙げられました。人口減少・超成熟社会における産業集積や産業人材のあり方については、ICTの力を活用した集積と分散のバランス良い展開が不可欠であることや、環境エネルギー分野とヘルスケア分野におけるイノベーションが重要であることが指摘されました。

その後、オープンイノベーションや、大企業と中小企業との連携によるイノベーションについては、社内外でのネットワークを活用して優れた技術をもつ企業を発掘し、遊休的財産の活用などによる「コラボレーション」によって、産業活性化につなげていくことが重要である、という意見がありました。また、イノベーションや新産業の創出に向けた行政の役割については、市民のためになる事業の実証フィールドを提供するなど、企業の展開を支援するべきとの意見や、イノベーションに必要な創造的な人材が集まりやすい環境の形成に向けて、クワイティブな人材がゆとり物事を考えられる環境整備や、人材が集結して能力を提供し合うネットワークの形成が必要であるという意見がありました。

さらに、グローバル人材の育成に向けては、言語だけでなく、ボーダレスに思考し、様々な国の人とコミュニケーションできる能力が重要視されており、自国のことを歴史・文化も含めてしっかりと語ることができる人材が求められているとの意見がありました。

そして、全国的にはまだ個別企業との連携に踏み出している自治体は少なく、川崎が積極的に企業連携している姿は先進的に映るので、産業が強いという川崎市の地の利や独自の文化は大切にしていってほしいという応援のメッセージもいただきました。

# 市民の皆さんによる話し合いを進めています。

## ★市民検討会議 全体会

新たな総合計画策定のため、市民検討会議委員による議論を行う「市民検討会議 第4回全体会」を開催しました。

### 出席者

コーディネーター 有識者会議 副座長	磯崎初仁教授（中央大学法学部） 出石稔教授（関東学院大学 副学長）
市民検討会議 委員	20名

### 市民検討会議 第4回全体会の流れ

#### 全体討議

- ・市民検討会議 意見のまとめ（案）
- ・有識者会議の検討状況
- ・これまでの検討内容 など

#### グループディスカッション

「みんなで取り組もう 私たちができること  
～市民から市民へのメッセージ（案）」  
～市民から市民へのメッセージ（案）」

1. 社会福祉
2. 子育て・教育
3. 防災・コミュニティ
4. 暮らし・交通
5. 文化・スポーツ・都市イメージ

全体討議では、まず、市民検討会議意見のまとめ（案）について、実施計画への市民意見の反映や、計画の進行管理などが議論されました。

次に、有識者会議の検討状況について、有識者会議副座長の出石教授から報告があり、市民自治のための市民の組織化や人材育成、他自治体における委員会での検討状況の比較について意見が交されました。これまでの検討状況については、実施計画におけるパイロット事業の実行や、市民活動事例の紹介、成果指標の設定などについて議論されました。

グループディスカッションでは、「みんなで取り組もう 私たちができること～市民から市民へのメッセージ（案）」について、テーマごとに5つのグループに分かれて、報告書に掲載する具体的な文案について、グループディスカッションを行いました。政策分野共通のメッセージに関してコミュニティづくり等の追加、自助・共助などの言葉の説明、これまでのディスカッションでのキーワードの補足などが行われました。

有識者会議副座長の出石教授から、市民から市民への思いを反映した総合計画の完成を期待するコメントがありました。コーディネーターの磯崎教授からは、「ディスカッションを通して、市民の心に素直に伝わる表現になった」というコメントがありました。

市民検討会議 第4回全体会  
日時：平成27年4月25日（土）9:30～12:30  
会場：川崎市役所 第4庁舎 会議室



全体討議の様子



グループディスカッションの様子



グループの成果発表



福田紀彦市長

出石有識者会議副座長

磯崎コーディネーター

# 有識者の方々からご意見をお聴きしています。

## ★有識者会議

新たな総合計画の策定のため、専門的な知識を持つ有識者の方々からご意見をいただくことを目的として、「第4回有識者会議」を開催しました。

第4回有識者会議  
日時：平成27年5月7日（木）10:00～12:15  
会場：川崎市役所 第4庁舎 第3会議室

### 出席委員

涌井委員、出石委員、秋山委員、垣内委員、中井委員、平尾委員

### テーマ

- ① 地球環境・地域環境分野
- ② 文化・スポーツ・シティプロモーション分野



委員による意見交換の様子



秋山委員



垣内委員

地球環境・地域環境分野では、まず、公害を克服してきた環境先進都市かわさきとして、公害の克服のための企業・市民との協働や連携などの新しい視点を「川崎モデル」として発信し、豊富な環境技術とノウハウによって途上国の環境問題に国際貢献する重要性が議論されました。

また、地球温暖化対策としてこれまで※緩和策が進められてきましたが、今後は※適応策が求められており、資源や人材に限られた中でどこまでできるか、今後の計画づくりが重要という意見がありました。

また、都市農業の可能性について、生ゴミを活用した有機農業の推進による都市農業の活性化と環境問題の解決や、生物多様性の重要性などの視点から意見がありました。



涌井座長

※緩和策：地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出を抑制する取組  
※適応策：既に起こりつつある、あるいは起こり得る温暖化の影響に適切に自然や社会の構築に向けた取組

文化・スポーツ・シティプロモーション分野では、まず、川崎は、多様な文化資源を活かすつ、市場のニーズに合った身の丈に合う文化政策をしているように感じるといった御意見をいただき、現状の文化政策を継続し、ミュージアムなどの世界に誇れる文化施設の適切な維持管理や、市民生活の質的な向上や市外在住者の利用促進につながる、魅力をワンストップで伝えることのできるプラットフォームづくりの必要性などについて議論されました。

次に、東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツ振興や、健康づくりの促進などについて御意見をいただくとともに、オリンピック・パラリンピックを大会だけで終わらせることなく、その後も市民の財産となるレガシーを残し、誰もが住みやすいまちづくりを進めていくべきという意見がありました。

関連して、川崎に定住する市民と、一時的に住む市民のそれぞれを大事にする必要性について議論されました。



出石副座長



福田紀彦市長